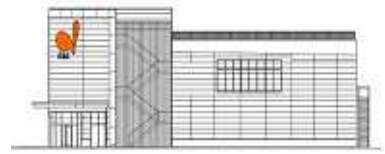


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイエー相武台店	階数	地上2F
建設地	座間市広野台一丁目5116-1、5116-1	構造	S造
用途地域	第1種住居、近隣商業地域、準防火地域区分	平均居住人員	設計日当り来客数 3,763 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2013年7月 予定	評価の実施日	2012年12月17日
敷地面積	6,478 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 イチケン
建築面積	4,039 m <sup>2</sup>	確認日	2012年12月17日
延床面積	7,821 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 イチケン



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 約50%  
上記+: 約50%  
上記+: 約50%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 一次エネルギー消費量の削減効果が高く、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減度も高い。		
<b>Q1 室内環境</b> 壁の断熱性能が高い。化学汚染物質への配慮も、ホルムアルデヒド以外にも厚生労働省の定める13物質、TVOCを汚染対象物質とし、規定を設け順守。塗装工事・配管・ダクト工事においても、配慮事項を定めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高が1F、2Fとも比較的高く、空間にゆとりをもちている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> 建物全体の一次エネルギー消費量の削減をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器、節水コマを採用し、水資源保護に配慮している。また、断熱材はフロン・ハロンの回避程度が高い非プラスチック系であるグラスウール・ロックウールを採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 大気汚染防止策として、電気温水器の採用、厨房機器の電化により、燃焼機器を使用していない。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される